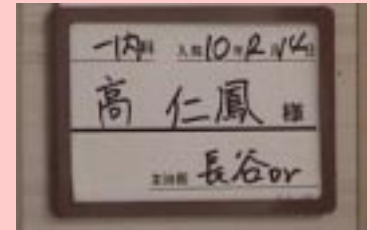
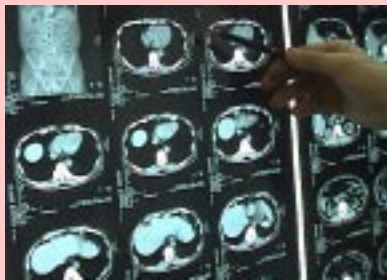


快適な病院での生活



高 仁 鳳
(ko inbong)



入院中ビデオカメラにできるだけ記録を採ることにした。
この写真もビデオから撮ったもの。
しかも、私自身一人ですべて撮った。
(SONYのデジタルビデオカメラDCR-PC10)

入院することになった。場所は近くの通信病院。
入院といっても、なにも大それたことではない。私自身、体はぴんぴんしているし、会社に出てきて仕事もできるのだ。
ただ、食事を病院ですること、時間を決め、血糖値を計ること。これさえ守ればいい。
考えようでは、人間ドックに入っていると思えばいい。実際、入院中に体のあちこち検査をしてもらうつもりだ。また、あらたまって検査をするのも、なかなかできるわけでもないし、いい機会だと思う。
ところで、どうして入院することになったか。それは、ビールの飲みすぎからだ。体調を崩したのだろう。2、3日食欲がなくてめしをろくに食わず、ビールだけを飲んだ。すると、ますます体が変わったので、近くの医院へ行って見てもらった。すると、なんと、GTPが1020であった。私はわからなかったのだが、これは大変な数値ら

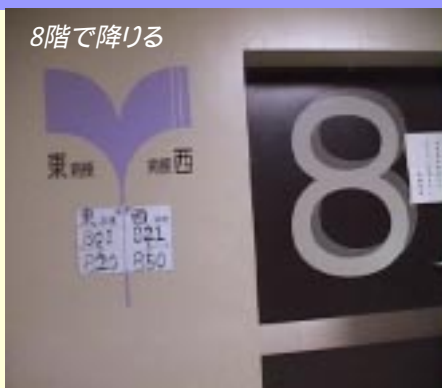
しい。すぐ、入院した方がいいとのことだ。それが12月10日。
私は通信病院で皮膚科の治療を受けていたので、あくる朝、早めに通信病院皮膚科の担当先生に相談をした。すると、すぐ内科への紹介状を書いてくださったので、月曜日の14日から入院することになった。(この日は11日の金曜日だった。)
内科の担当先生は長谷寛二先生だ。
今、毎日1600kカロリーの食事をしている。普段食べているよりは少なめだ。しかし、おいしい。毎日ちがう献立が出る。
数日すると、300台であった、血糖値が100台に下がった。薬のせいもあるだろうが、これは、バランスのとれた、食事のせいだろう。
病院生活は本当に快適だ。めしはおいしいし、ベッドの上にはパソコンがあるわ、部屋も病院内も暖かい。看護婦さんたちもやさしく親切だ。これはホテルのようだ。ほんと。<98年12月25日記>

快速な病院での生活

1998年12月14日～1999年1月14日



エレベーターに乗り



8階で降りる



833号室が私のいる部屋



私のベッドの上にはノートパソコンもある。
これでちょっとした仕事もできるんだ。



通信病院



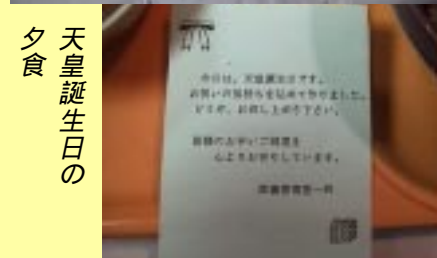
食 事



朝食



昼食



天皇誕生日の
夕食



夕食



クリスマスの夕食



通信病院は桃谷駅のすぐ近くにある。

食事は1日に1600kカロリーが出る。20単位だ。
本当は私には1800kカロリー-の23単位なのだが。

快適な病院での生活



外出の時はこれに書いて



針をはめて



私が飲む薬
上が肝臓の薬、
下が糖尿の薬
グリミクロン、今
は半錠を朝1回
服用。



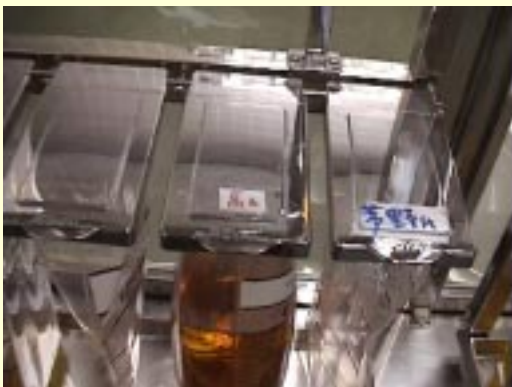
グルテストセンサーをはめ

30秒すると血糖値が表示される

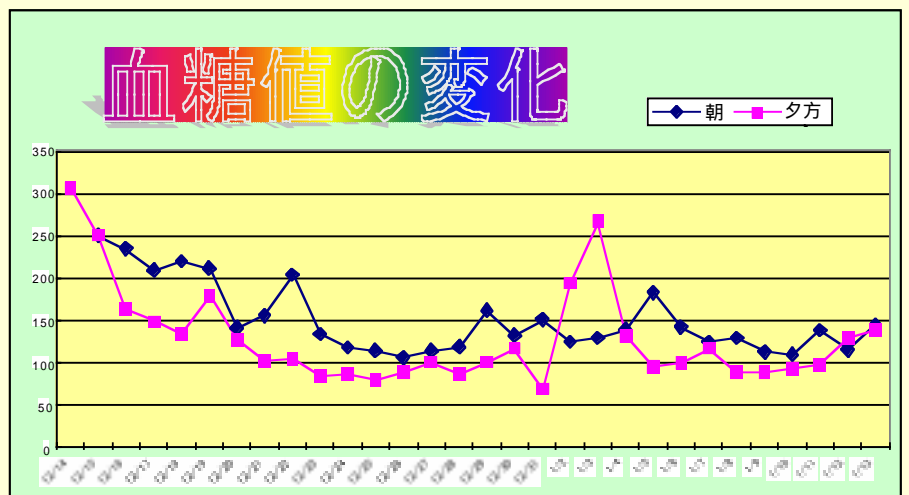
指から血を採って



毎日おしっこは
ここにためる



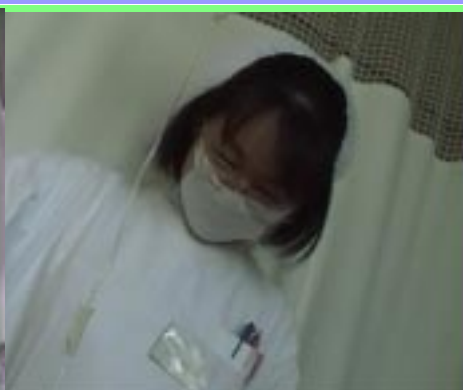
時にはこのように採尿をする。



血糖値は毎日2回、朝食前30分の7時半と夕食前30分の5時半に計る。
12月14日から1月13日迄のひと月間。

快適な病院での生活

1998年12月14日～1999年1月14日



看護婦の松本 恵さん

点滴をする

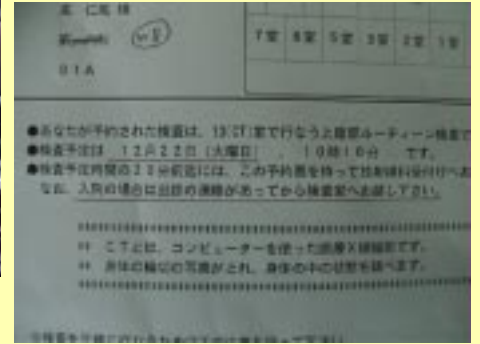
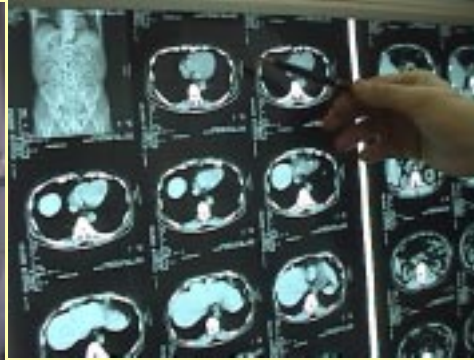
毎日午前9時半ごろ点滴をうつ。肝臓の薬らしい。だいたい、1時間から1時間半くらい。



レントゲン撮影



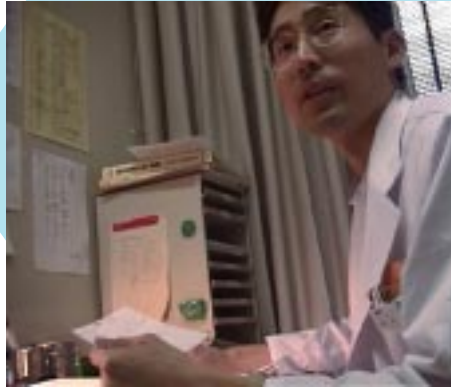
快適な病院での生活



CT 撮影検査



眼科の検査

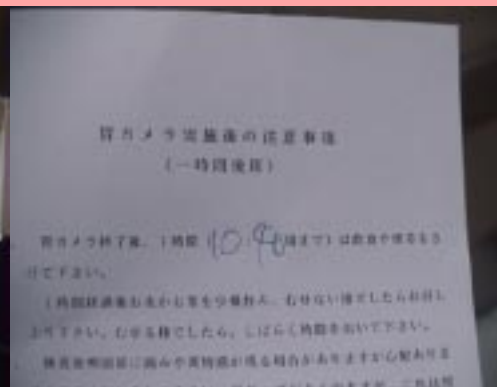
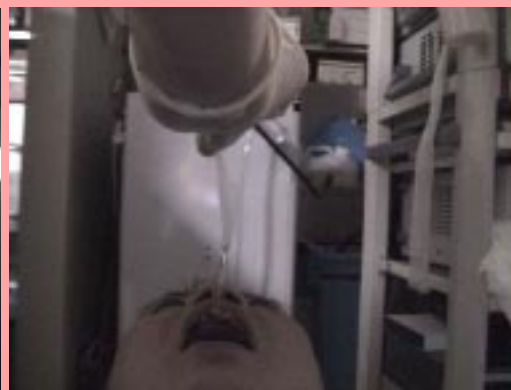
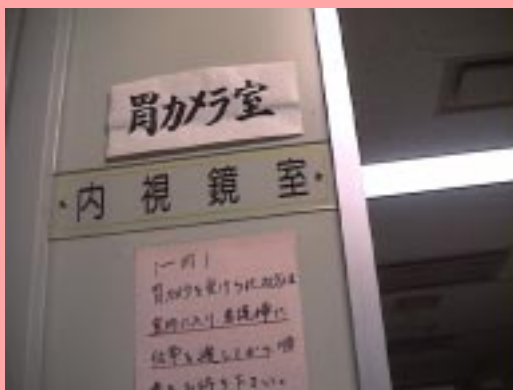


胃カメラでの検査

この検査を始めから終まで、自分自身で撮影した。もちろん、ファインダーは覗けないのでカンに頼って撮った。

飴のようなどろっとしたものを口へ

胃カメラの管が入り始める



胃のなかのようすがモニタで見られる

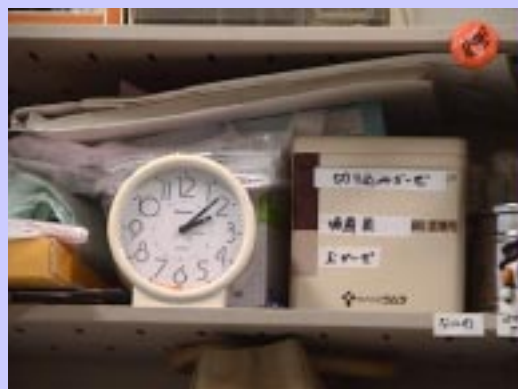
食事は1時間後に

快速な病院での生活

1998年12月14日～1999年1月14日

肝生検

1月17日、肝生検を受けた。これは肝臓の組織を一部採って、その細部組織を検査するとのことだ。



始まる前の時間、実際は2時15分かな。



終わったときの時間、実際は2時30分かな。



いつも受けている点滴の他に別の点滴もうたれた。



処置をして下さった、主治医の長谷先生。命預けてまっせ。

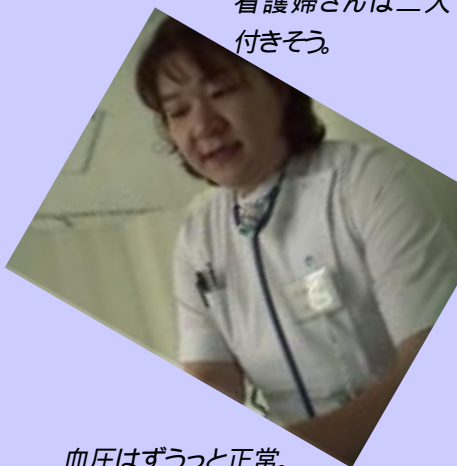
まず、肩に注射。これは麻酔の一種らしい。



処置に使われる
道具類。



看護婦さんは二人
付きそう。



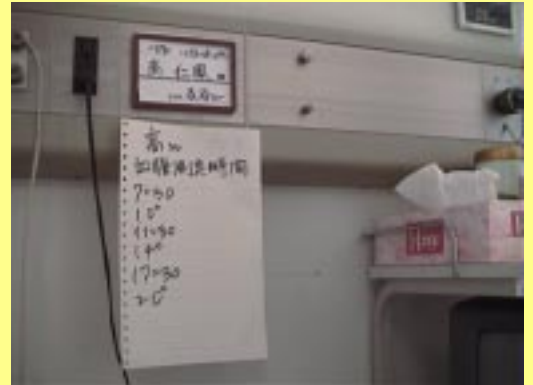
血圧はずうっと正常。



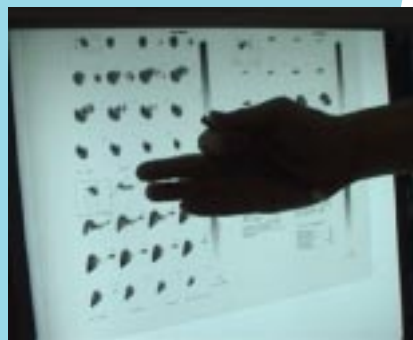
処置したあと。



快適な病院での生活



肝機能検査



血液検査



主治医の長谷寛二先生



薬担当先生。
薬に関する注意事項など

栄養指導



栄養士の
鈴木先生

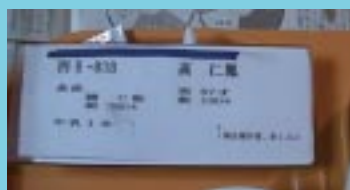


快速な病院での生活

1998年12月14日～1999年1月14日

食事管理

糖尿病をはじめ、成人病は食事が大切だ。決められたカロリー（私は1600kカロリー）に、栄養バランスを考えて採るようにしないといけない。



はい!!、ごはんですよ。
決められた時間に暖かい食事が運ばれて来る。
朝8時、昼12時、夕方6時

一日の食事

これは1月6日の食事だ。一日出たものをすべて計りに計って見た。



6日朝食、全部食べた。
入院して、退院するまで、出された食事はすべて残さず、食べた。



6日昼食



6日夕食

6日の朝食をはかりに計った。



お粥 412g(正味270g)



器 150g



たまご 154g(正味46g)



器 108g



いも 162g(正味77g)



器 85g



菜っ葉 134g(正味57g)



器 77g

制作メモ

撮影=SONY デジタルビデオカメラ DCR-PC10

編集=SONY VAIO PCG-505R ノートブックパソコン

制作はWindowsで作り、プリンターする時はマックから行った。グラフはエクセルでデータを集計して、グラフ化したもの。

98年12月14日に入院して、99年1月14日退院。

ビデオ撮影はすべて私（高）が一人でやった。

ケイビーエス株式会社 / 高 仁 鳳(ko inbong) / <http://www.kbsjapan.com/>